# 令和5年第12回教育委員会定例会 会議録

- 1 開催日時 令和 5 年 12 月 15 日 (金) 午後 1 時 30 分~午後 2 時 10 分
- 2 開催場所 第3委員会室
- 3 出席者

【教育長】 水田 博和

【委 員】向 文緒

【委員】竹田 卓弘

【委 員】 浅井 敦臣

【委 員】 河合 香吏

【事務局】 教育部長 西野 正康 文化スポーツ部長 大橋 弘明 中山 一徳 教育総務課長 同 課長補佐 田之上 愛子 同 課長補佐 加藤 隆一 同 担当主査 加藤 恵子 学校教育課長 大城 達也 主幹 加藤 喜英 司 指導主事 梶田 英男 同 同 課長補佐 山﨑 俊介 学校給食課長 加藤 純也 文化財課長 村松 一秀 野外教育センター所長 生倉 勉 同 主幹 坂野 年伸 文化・生涯学習課長 田中 芳樹 スポーツ課長 林 一元 四ツ倉 光一 図書館長 食育推進給食会企画経営課長 長江 泰典

### 4 議 題

- (1) 小中学校プールの今後のあり方について
- (2) 教職員等の処分について

### 5 議事概要

教育長

本日の傍聴者はありません。

教育長

春日井市教育委員会会議規則第6条第2項の規定により、会議 録署名人は、向委員を指定。

教育長 (報告事項) 12月8日(金)に「創意と活力のある学校づくり」支援事業の応募校によるプレゼンテーションを実施しました。今年は27校の応募があり、選定委員会で予算の配分について決定をしました。

小中学校では先週から今週にかけて2学期懇談会を実施しています。

21日(木)は給食終了、22日(金)には終業式を行います。

年明けは1月6日(土)に消防出初式、7日(日)に第43回新春 春日井マラソン、8日(月)に二十歳の成人式、9日(火)が3学 期始業式です。

17日(水)から23日(火)には、第51回けやきの子作品展が文化フォーラム春日井1階交流アトリウムで開催されます。特別支援学級や特別支援学校の児童・生徒の作品が展示されます。是非ご覧ください。

漢字一文字で今年の世相を表す今年の漢字が「税」と発表されました。生活に直結する増税・減税の動向が注目され、国民の不安や期待が錯綜した1年だったことから選ばれました。2位は、夏の平均気温が統計開始以来最高であったことによる「暑」が選ばれました。

今年もあと半月あまり、来年は辰年の中でも「丙辰」、時代が動く年、大きな出来事が起こると予想され、これまでの努力が実って夢が叶いやすい年になると言われています。良い年を迎えたいと思います。

教育長

「議題(2) 教職員等の処分について」は、地方教育行政の組織及 び運営に関する法律第14条第7項ただし書きを適用して非公開と すること及び審議の順序を入れ替えることを提案。

### 教育長

議題(2)について、採決の結果、全員一致で「非公開」及び審議の順序を参考資料説明後にすることを決定。

教育長

- 1 議題
- (1) 小中学校プールの今後のあり方について

### 教育総務課長

資料に基づき「小中学校プールの今後のあり方」について説明。

向委員

いつ頃から検討しているのか、また、どれぐらい検討期間を設けたのか。委託した場合、教員の引率はどのようになるのか。徒歩の場合、どのように教員が引率し移動するのか。万が一事故が起こった時の保障は、どのように検討しているのか。

平成になってから建設された小学校が2校あるが、その2校のプールも使用できないのか。建設してから日の浅い学校も含めて、全面移行する根拠は何か。

教育総務課長

検討し始めたのは今年度からで、豊明市と豊橋市に視察に行き、 その結果でこのようにまとめている。視察した市もそうであった が、プールへの引率はバスを使用する。教員が引率し授業も一緒に 行うので業者任せではない。

学校教育課主 幹 引率については、授業を行う担任が行うことになる。また、学習 支援講師・生活支援講師等の市の会計年度任用職員も含め複数人 で引率することになると考えている。

学校教育課長

引率に関しては、基本的にはバスを使用するが、プールへの距離がそれほど遠くない山王小学校・松原小学校・坂下小学校・中央台小学校の4校は徒歩の予定である。

教育総務課長

新しい学校のみ学校のプールを使用するとなると、専門のインストラクターが指導する学校と教員が指導する学校で格差が生じる。 そのため、2年後には全校で一斉に移行することを考えている。

### 向委員

インストラクターが指導する学校とそうでない学校の格差が公平性の観点から問題になると思うが、例えば、出川小学校のような新しい学校は、外部からインストラクターを招いて、教員と一緒に授業を行った方が経費も安く済むし、バスを使って実施するよりもSDGsやリスクの観点からもその方が良いのではないかと思う。民間プール委託にかかる費用と現在のプールの維持管理費の差額が320万円あるので、そういったことも検討の余地があるのではないか。

デメリットとして挙げられているが、民間プールの廃止や受け入れ状況が変わる可能性があるということが一番心配である。学校教育に関することを民間に委託することのリスクはないのか。また、中学校は学校プールを維持するのであれば、それを活用することはできないのか。

子どもが減っていけば、小学校の統合や設備の共用等検討しなければならないと思うが、全校一律ではなく、最も深刻な学校からモデル事業のようにやってみて、メリット・デメリットを勘案してから全面移行してもよいのではないかと思う。

### 竹田委員

民間プールは温水や室内であると思うが、プールの授業は例年通り夏に実施するということでよいか。

#### 教育総務課長

屋外のプールの場合は夏になるが、民間プールはすべて屋内であり、温水で空調も効いているので、時期に捉われず、5月~2月の中で、学校毎にスケジュールを組む予定である。

#### 竹田委員

春日井市内の民間プールでは、小学生全員を受け入れる見通しは立っているということでよいか。

### 教育総務課長

市内にある民間プール事業者に声を掛け、受け入れの可否と可能な人数を聞いた。その結果、小学校については年4回の授業であれば対応可能だということで話を進めている。

### 河合委員

声を掛けたのは、春日井市内の事業者だけか。近隣市町の民間プールを使用することも検討したのか。

### 教育総務課長

市内の事業者のみでは小学校全部は対応できないため、近隣市町の事業者にも声を掛けた。桃花台の方で1件快諾していただいたので、その事業者にも受け入れをお願いする予定である。

### 教育長

暑すぎたり雷が鳴ったりするとプールに入れない等、近年プール 授業を予定していてもプールに入れず、別日に変更することが多い のが現状である。その点、民間プールは天候に左右されないという メリットがあり、夏だけでなく長期間実施ができるので、日程調整 は1回で済む利点があると思う。

民間プールまでの距離によって移動時間が長くなるという点に ついては、十分検討していく必要がある。

## 向委員

春日井市は人口が30万人程だが、温水プールは1つしかない。全ての学校にプールを整備していくことが予算的に難しいのは分かるが、民間業者が不足したり移動距離が長くなったりする地域に温水プールを設けて、そこを有効活用して授業をしていくことはできないのか。自治体のプールを整備し民間業者に貸し出して費用を回収することはできないのか。

少子化が進む中で、どれだけ民間業者が経営を維持していくことができるか疑問なので、一律に民間委託することは危険だと感じる。

今困っているところを少し有効活用することは問題ないと思うし、教員の負担軽減のために外部講師を招くのも良いと思うが、それによって小学校のプールを全部廃止するのはいかがなものかと思う。

#### 教育総務課長

豊橋市は春日井市と人口はあまり変わらないが、学校数については豊橋市の方が多く、小学校が52校、中学校が22校である。

豊橋市は、現在小学校52校中20校がプールの民間委託を行って おり、今後3年以内に全校に広げていくと聞いている。

### 向委員

最近バスの事故が多いので心配である。ドライバーの確保が非常に難しいとも聞く。保護者としては、学校で指導してもらうのが一番安心である。

教育長

ご意見として伺っておきます。

河合委員

夏休みの小学校のプール開放は、現在行っていないのか。

教育総務課長

行っていない。

河合委員

保護者の立場からすると、移動の時に何かあった場合の対処等が 気になるので、そこを説明に加えると納得する人が増えるのではな いかと思う。

教育長

移動に関してはバスを使用することになるが、十分注意をすることは勿論のこと、実際に実施していくことになった場合は、相手方としっかり話をしていくこと。

来年度「半数程度の小学校で実施」とあるが、具体的には何校か。

教育総務課長

17 校です。

教育長

来年度の実施について、採決の結果、挙手多数で「資料のとおり」決定。

○参考資料について

学校教育課主 幹 前回の定例教育委員会で配付しました「令和5年度全国学力・学習状況調査における春日井市全体の結果について」の5ページ、中学校3年生の国語について、内容と今後の指導のポイントの関連が分かりにくい部分がありました。関連が分かりやすくなるよう、内容部分に「古典の原文と古典に解釈を加えて現代語で書いた作品とを読み比べる場面において」を追加しました。

文化・生涯学習課長

前回の定例教育委員会で、味美ふれあいセンターで開催予定であった「妊活前に知ろう!妊娠前に必要な身体づくり」と題した講座について、10月7日及び10月28日の両日とも中止になっているがその理由は何かと質問がありました。中止の理由は、広報等で約1か月前から受講者の募集を行ったが、応募がなかったためです。

教育長

2 議題

(2) 教職員等の処分について 採決のとおり非公開とする。

上記のとおり、議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、 教育長及び指定された会議録署名人が署名する。

令和 6年 1月 26日

教育長 水田 博和

署名人 向 文緒